

会議の概要（議事録）

会議の名称	(番号) 1-33	令和4年度 墨田区学校給食協議会		
開催日時	令和5年2月1日(水) 午後3時30分から4時40分まで			
開催場所	墨田区役所11階 教育委員会室			
出席者数	計19人 【委員】令和4年度学校給食協議会委員 14名 【事務局】給食保健・就学相談担当職員 5名			
会議の公開 (傍聴)	<input checked="" type="checkbox"/> 公開(傍聴できる)	<input type="checkbox"/> 部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校給食の現状について 2 令和5年度学校給食費(案)について 3 その他 			
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 学校給食協議会資料 			
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長挨拶 3 委員紹介 4 議長の選出 輪番制(墨田区学校給食協議会に関する要綱第4条) 今年度は「区教育研究会中学校給食部長」河野敏也 文花中学校副校長 5 議長挨拶 6 議事 <p>(1) 学校給食の現状について</p> <p>ア 教育委員会事務局より</p> <p>事務局</p> <p>配付資料4ページから13ページについて、説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中とともに概ね充足率を満たしている。 ・各実績データは、令和3年12月から令和4年11月の1年間分を集計。 ・今年度の購入実績による1食単価は、小学校(中学年)277円56銭 中学校335円86銭。今年度は、公費による給食費の一部補助あり。 			

- ・円安や原油高、ウクライナ情勢等により、小麦粉・油など様々な食材価格が値上がりしており、その影響は令和5年度も続く見込み。

イ 区立小学校の現状

臼倉委員

- ・今年度は、多くの食品で値上がりがあったが、6月から給食費の一部助成をしていただくと共に、各校が工夫して献立を作成したことで、栄養所要量と食品構成の基準をほぼ満たすことができた。
- ・ほとんどの栄養素が基準値を満たしているが、鉄と食塩が基準値から外れているため、改善していきたい。
- ・次年度も栄養バランスの整った、安全でおいしい給食を提供できるよう、食材の選定に一層努めていくが、給食の質を維持・向上するために次年度も給食費の一部助成を継続又は給食費の値上げを検討いただきたい。

ウ 区立中学校の現状

熊谷委員

- ・今年度は例年になく物価高騰だったが、主要な栄養素については基準を満たすことができた。
- ・栄養所要量では、カルシウム、鉄、食物繊維が基準値を下回っているが、鉄・カルシウムは使用食材を工夫し前年度より基準値に近づけることができた。更なる改善のため引き続き努力していきたい。
- ・食塩相当量が基準を上回っている状況であるが、昨年度より5ポイント減少させることができた。今後も工夫を重ね、薄味でもおいしく食べられる給食をすすめていきたい。
- ・中学校の学校給食は、成人期に向けて食べることを学ぶ最後の教育時期であると考え、今後も、限られた予算の中で、将来を担う「すみだのこどもたち」へ安全安心を第一に、豊かな食体験ができる給食を提供していきたい。

【質疑応答】

中村委員

塩分の摂取量を抑えようと努めているとのことだが、近年は、夏場の熱中症が問題となっており、一律に塩分を抑えるべきかどうか疑問である。どのように考えているか。

事務局

将来の生活習慣病予防という観点で、食塩に関して国の摂取基準は引き下げられており、区も準じている。季節等の配慮も考慮したい。

松井委員

墨田区は生活習慣病の発症率が高いという認識があるが、給食での塩分摂取量抑制が目標に達していないことと因果関係はあるか。

事務局

因果関係を示す調査結果がないので判断できない。今後も、児童・生徒が望ましい食習慣を身に付け生活習慣病の発症リスクを低減できるよう、取り組んでいきたい。

宮本委員

物価高騰が続いているが何か工夫している点はあるか。

熊谷委員

より安価な業者からの仕入れの検討や、使用する食材の選定に気を付けている。また、今年度は食育推進交付金の特別交付分を活用できたため大変助かった。

白倉委員

給食に係る食材の無駄を出さないよう心掛けている。また、複数業者の価格を比較して仕入れを行っている。

事務局

質を確保しながら、価格を抑えられるよう、各校の栄養士が集まる会議などで、食材等の情報交換を行うなどしている。

西村委員

小麦粉、米、牛乳の価格動向について情報があれば報告してもらいたい。

事務局

小麦粉を使用しているパンについては、契約先である東京都学校給食会によると、令和4年度当初の値上げはあったが、年度内のさらなる値上げは行わないとのこと。ただし令和5年度は値上げを予定していると聞いている。

米については、物流に係るコストが上がっており、今年度産の9月時点の取引価格は3年ぶりの値上げとなり、前年より5%アップしている。

牛乳においては、乳牛の飼育に係る経費、保管流通に係る経費が上昇しており、パンと同じく契約先の東京都学校給食会によると、令和5年度も値上げが予定されている。

末富委員

おいしい給食がすべての学校で提供されているということについて大変感謝している。給食のPRのためにHPで献立の写真を載せるなどの取り組みを各校で行っているのか。

事務局

各学校のHPに給食の献立を掲載している。また、タブレットを活用し、献立紹介や、家庭への啓発を行っている。

末富委員

教育委員会全体としても給食のPRをしてもらうことで給食費についての保護者の理解も得られやすくなると思う。

(2) 令和5年度学校給食費(案)について

事務局

事務局より「令和5年度 給食費について(案)」を提示し、令和5年度の学校給食費は、令和4年度と同額の据え置きとする事務局案を説明。

【意見交換】

中村委員

大変な物価高騰は有るが、事務局説明を受け、据え置きが妥当かと思う。また、食育推進交付金は継続してもらえるのか。

事務局

次年度も1人1食12円分の公費負担を継続することを予定しており、食育推進交付金も例年通りの3回分については予算計上している。

西村委員

食育推進交付金の例年実施している3回分は継続することとしており、また、今年度実施した食育推進交付金特別交付分のような事業についても、国からの財源の提示等あれば、その機会を逃すことなく実施したい。

1食12円の補助は、物価上昇4%程度まで耐えられるように設定した金額であるが、これを継続することを予定している。

また、昨年度の本協議会はロシアによるウクライナ侵攻の前に開催されており、値上げの決定はあくまでその時点での経済の変動に伴うものであったため、保護者負担額を増やす決定をした。その後のウクライナ情勢に伴う大規模かつ急激な物価上昇は、保護者負担によって対応することはできないと判断し、公費負担したものである。

松井委員

今年度の公費による給食費支援はありがたかった。特に食育推進交付金の特別交付分について、次年度も継続して実施してもらえないか。

可能であればできるだけ早いタイミングで実施してもらいたい。

西村委員

国の補助金の有無のみで判断するわけではないが、事業を支援する財源等が無いかに注視しながら実施の検討をしたい。

山崎委員

日頃から給食運営に感謝している。(保護者にとっては)金額も据え置きとなることはありがたいことだと思う。学校現場でも多くの方々の協力で、給食が成り立っていることを子供たちにしっかり伝えていきたい。

末富委員

保護者の立場として、据え置きはありがたいことだが、給食運営が滞りなく進むかどうか心配する気持ちもある。事務局からの説明の中で、事務局が計算した令和5年度給食費積算数値と、それに対しての公費補助額の差額分があるが、この差額はどうなるのか。保護者負担額をあげないで、給食費は足りないことはないのか。

事務局

差額分は、市場の価格変動を見極めた食材の選定や、現場での献立の工夫等に対応できる範囲であると考え、保護者負担額に転嫁していない。

末富委員

了解した。多くの方の協力により給食が実施できていることを改めて保護者に伝えなければならないと思う。

令和5年度の学校給食費については、事務局案どおり令和4年度と同額の据え置きとすることで決定した。

	<p>(3) その他</p> <p>松井委員 区内の食材事業者が良い食材を安価に提供してくれているため、感謝している。</p> <p>西村委員 区内の業者は約 100 社あるうち半数の 50 程度となっている。</p> <p>事務局 各社とも、質のよい食材を選定し、提供くださっている。</p> <p>須藤委員 食育推進交付金の特別交付分の各校での実施の様子などをどこかで情報提供できると良い PR になるのではないかと考えている。</p> <p>徳丸委員 子供たちも牛肉などの特別なメニューはとても喜んでいる。もう少し踏み込んで給食に関することを子供に伝えることで家庭に持ち帰って、さらに良い効果を生むのではないかと考えている。</p> <p>三井委員 今年度の食育推進交付金の特別交付分は特別感のあるメニューを出せて生徒たちも喜んでいて、給食運営としては平均的に使用できる金額が増えることがありがたいが、生徒たちは特別感のあるメニューがある方が記憶にも残っていいのかもしれない。可能であれば次年度も特別交付分を継続してもらいたい。</p> <p>末富委員 東京都ではどこの学校でも自校調理なのか。給食センターもあるのか。</p> <p>事務局 区部では給食センターがあるのは世田谷区のみ。市部はセンター方式の自治体も多い。</p> <p>7 閉会</p> <hr/> <p>会議の概要は、以上である。</p>
所 管 課	墨田区教育委員会事務局学務課給食保健・就学相談担当（内線 5 1 3 3）